

「ディスレクシア児の読みの特徴—眼球運動の観察」

10月25日(土) 10:00-12:00

教育学部公開講座「ディスレクシア児の読みの特徴—眼球運動の観察—」を開催しました。教師や保護者、学生等77名(うち、学校心理士会会員34名)の参加があり、県外(広島、滋賀、長野、愛知等)からもお越しいただきました。

岐阜大学教育学部教授の村瀬先生から、学習障害の中核となる「読み(書き)」の障害について、文字の読みに関する最新の研究成果をご講演いただきました。読みの困難さには、意味理解の困難さが推測されるということです。したがって、支援においては、意味のまとまりを記す手がかりが有効なことなどを教えていただきました。

読みの困難さには教材や、当事者の関心に関係しているか等、活発な質疑も行われ、「読み(書き)」の困難さに関する理解を深め、指導のヒントをいただきました。

